

## 【会議結果】

会議名	令和4年度 第3回碧南市地域公共交通活性化協議会
日時	令和5年1月18日(水) 午前10時～11時30分
場所	碧南市役所 7階議員大会議室
出席者	碧南市地域公共交通活性化協議会委員16名(内代理出席 1名) 事務局4名、コンサルタント2名 (欠席:碧南警察署 大脇委員、愛知県都市・交通局交通対策課 大林委員)
傍聴者	5名

### 議事

#### 1 あいさつ

#### 2 議題

##### (1) 碧南市地域公共交通の課題整理について

##### ア) 交通に関する社会情勢及び碧南市の地域特性

##### ○事務局

- ・資料1により説明

### 質疑応答

#### ○中村委員(碧南市建設部長)

15 ページについて企業送迎バスは碧南中央駅が入っていない。また、どこが一番多いか。

#### ○事務局

企業数で見れば碧南駅が一番多い。利用者数で見ると、どこが多いか把握出来ていない。

#### ○中村委員(碧南市建設部長)

19 ページについて、タクシー事業者が減少した影響については記載しないのか。

#### ○事務局

提供いただいたのが三光陸運様のみでしたので、提供いただいた物で整理をした。

#### ○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

6 ページのバス運転手不足の深刻化についてですが、ここは自動車運転全般なので、バス以外のタクシーについても記載してほしい。タクシー事業の方も、運転手が減っていて車両数が減っているという背景があるので、バスだけではなく、公共交通の一部としてタクシーの方も併せて表現を変えて頂きたい。

19 ページのタクシーの利用者数は会社によって出せる出せないがあるのでわからないが、ここ1年では名鉄知多タクシーが8台くらい減車している、またコロナの影響で休車して台数が減っているところで、碧南市内で運行しているタクシー台数が減少しているという記載があるとよい。

#### ○事務局

そのように修正する。

イ) 各種調査結果

○事務局

・資料1により説明

質疑応答

○鳥居委員（市民公募）

23 ページの知立市の地域公共交通網形成計画は駅を中心にしてバスの運行の形態が組んであるので、碧南市も駅を中心にした形態に変更する考えはないか。

○事務局

今後の協議で皆さんの意見を伺いながら方針や方向性を検討していく。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

くるくるバスの利用者を一人運ぶのにいくらほどかかっているか。

○事務局

概算で1人あたり500円弱程度。

○金沢会長（碧南市副市長）

利用者1人あたりなのか、市民1人あたりなのかははっきりしてほしい。

○事務局

18 ページにくるくるバス運行委託費の推移がありますが、4400万円に対して利用者数9万人で、4400万÷9万人で1乗車あたり500円弱となるため、往復になると1000円のコストとなる。

ただ4400万円には車両の購入費やバス停の維持管理は入っておらず、経費は別途かかっている。1乗車500円以上の経費がかかっているとご理解いただけたらと思う。

ウ) 碧南市における地域公共交通の課題

○事務局

・資料1により説明

質疑応答

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会代表）

利用者のアンケート結果は満足しているような風に見えるが、どこに問題点があるのか。

全体の方向性についてはどのように考えているか。

○事務局

今回は一通りのアンケート結果をお見せして、項目の中には免許の返納、健康状態が良くない方、年齢の属性についても伺っていて、それぞれの属性の方がどういった意見を頂いているか、3つの大きな課題の枠組みについてお出ししているので、この中でさらに掘り下げた分析をする中で具体的な方向性を次回以降お知らせします。

○金沢委員（碧南副市長）

42-44 ページ、46 ページに方向性が記載されていると思っている。それぞれのキーワード的な事が記載されているので、これを今後の計画にどう反映させていくのか、今後の協議会の進め方だと思っている。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長）

アンケート結果について、ぱっと見た感じ、問題があるように見えない。「現時点の利用の必要がない」又は「他の交通手段がある人」の率が高い感じが受ける。

問題としては使っていない人ではなく、将来に向けてどうするかだと思う。「現時点の利用の必要がない」又は「他の交通手段がある人」が強調されたグラフを見ると、何も問題がないから何もやらないでいいとか、税金が高いからもう少し下げた方がいいんじゃないかとか、議論としてはずれていく。アンケートは重要だとは思いますが、「現時点の利用の必要がない」又は「他の交通手段がある人」は「その他」の下の欄に移動するとか又は色を薄くするとか、もっと問題が確実に絞れて、焦点がわかって今利用している中で何が問題なのかがわかる資料作りをお願いしたい。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官）

目次について、この後の章立てについて見えていないと、今後の取組み、議論の流れが分からないので説明をお願いしたい。また現状の交通について、今ある交通がどんなものかと、拠点となる場所がどこかを視覚的に分かるようなまとめ方にしてほしい。

OD の掘り下げもお願いしたい。

1 乗車当たりが高いか安いかどうかは、色々な考え方があるが、町の活性化の為にどうやって地域に活かしていくかという流れでまとめられると思う。

○事務局

スケジュールの予定ですが、3月に第3回の公共交通会議を予定している。その中でももう少し深い分析をする中で今後の方針や方向性などを決めていきたいと思う。

また次回に6章・7章についての計画も示す。

来年度には6で地域公共計画案の検討、7で地域公共交通計画の取りまとめということを行っていく。

利用者ODについて、36、37ページの表の下に記載している※矢印で示した図に差し替え予定とあるが表ではわかりづらいので、移動が視覚的にわかりやすい図面に差し替え予定。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官）

6章、7章の目次名称を確認したい。

○事務局

6章の目次について、地域公共交通計画案の検討①地域公共交通の在り方(将来像)②公共交通サービス提供の方針(機能分類)③公共交通と町づくりの連携方針④公共交通の運営・運行体制の方針⑤計画の区域と期間

令和5年度以降の協議会の内容について、地域公共交通計画案の検討の中で5.計画目標の設定6.目標達成するために行う事業及びその実施主体等の検討、7.計画の達成状況の評価に関する事項になります。

○山内委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

本日は課題を出して、次回に目標設定と事業をもう少し具体的な提案頂けるよう事で理解しました。またバス・タクシーの運転手不足の話も記載している中で、こうした内容の課題の書き込みが弱いように感じるがそのあたりの意見を聞きたい。

○事務局

意見を頂く中で修正していきたい。

○林委員(愛知県知立建設事務所維持管理課長)

資料の作り方の提案になりますが、13 ページに整理されているサービス水準について、運行経路や駅がどこどこを結んでいるのか分かるような図を追加すると分かりやすいと思う。

○事務局

追加していきたい。

○中村委員(碧南市建設部長)

46 ページの集約課題③について、碧海5市及び西尾市という書き方がいいのか、周辺市町という書き方がいいのか。

○事務局

また相談させていただきたい。

○山内委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

広域的なネットワークについて、名鉄さんがV字回復していない中で、集約課題の中で見えてこないのので、市としてどのように関わっていく考えかを知りたい。

○事務局

集約課題②の中でコロナの影響により減少した利用者の回復を目指すところでは、鉄道を含めてイベントやパークアンドライドなども視野に入れていきたい。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部)

策定スケジュール感の話について、会議の冒頭で前回までの議論と今回はこの議論をしますという話をしていただけると助かる。

集約課題①-③ 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中にも観光強化の事があるので、観光強化についてアンケートではなかなか出てこないと思うので、やりかたをもう少し考えるべき。

○事務局

スケジュール感については冒頭でお出ししていきたい。観光についても含めて検討していきたい。

○岩崎委員(四日市大学学長)

集約課題②の「利用して元気になる」とは誰か、色々あると思うので、「誰々が元気になる取組み」ではこういうこと、というようなまとめが出てくると思う。

個人・地域が元気になる公共交通の利用とは何か、アンケートをベースにして一つずつ具体的な項目として行動目標としていきたい。46 ページのグラフについて、鉄道も全て含めて頻度の高

い外出目的とその目的地とすると通勤と通学、買物と通院で全くニーズが違うので、そうなる朝夕便と昼便で大きく分けてもいいのではとなる。そうするとアンケートから今後の公共交通計画がどのように組み立てていくかという事が見えてくるのではと思う。

値段(500円)について、出し続ける事が碧南市で出来るのか。今は乗らないけど、いずれ乗るから、あったほうがいい。原価償却を考えると1乗車500円では済まない。その事を碧南市民はどこまで理解しているか。元気になるという事の大前提は市民の方が乗るという事または自転車に乗るという事だと、私は思う。不可能になってきている方は福祉のバスか近所の方の送迎をするというニーズもある。それを市がどのように支援できるか。またやりだすと資金(税金)はどうなるか。タクシー協会との調整も出てくる。

地域の交通手段を総動員する、高齢化が進む中での移動困難者の移動手段を確保するというのが国の大号令で動き始めている。碧南市にある交通手段は他に何があるのか。近所の方の自家用車を使うのも一つの手段として考えていかなければならない。

15 ページの企業送迎バスを自家用で持っているのであれば、昼間は運行していないので運用していく、地域の交通手段を総動員という観点から言うと、企業送迎バスを利用するというのは検討の中に入れていいと思うし、また企業には地域社会の貢献ですと言えるので送迎バス活用は検討していくといい。

興味があったのが、14 ページにある、近隣市のくるくるバスの接続している所で使った方の値段の反応が知りたい。例えば近隣市では福祉バスで無料、又は違う市では値上がりした事例があるが不便でもしょうがない方が多数いる、碧南市は無料かつ利便性がある上、これからも無料で本数を増やしていけばいいという事ですが、近隣市では低額だがお金を払っているので、住民目線でこの接続の所の意見を是非聞いてみたいと思った。

28. 29 ページで見る限り、くるくるバスは必要だが、現時点では必要はないというのがわかる。またラストワンマイルという事で最寄りバス停には近いがそこまで行けない、そういう人たちをどのように、バス停に引き寄せるかも大きな課題。ODでもう少し深掘りをして頂きたい。

目的別に交通手段がどのように使われているのかを見て頂きたい。

公共交通会議は、皆さんに自由に碧南の公共交通はどうあるべきかの議論の場でもあるので次回には活発な意見がほしい。

また集約課題②の「利用して元気になる」というのは誰が、という主語を常に考えていきたい。碧南単独でやる必要はなく、他の市町も含め広域で取り組んでほしいと考えている。

○金沢委員（碧南副市長）

修正を含めたうえで現時点で(1)を閉じたいと思うが賛成いただけるか。

(賛成多数)

(2) 第三者評価委員会について(協議事項)

○事務局

- ・資料2-1、2-2により説明

質疑応答

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部)

定額制運賃の導入という表記は避けていきたい。

○山内委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

新しい仕組みを導入するには議論が必要であって、事業者としても続けていける仕組みでないといけないので、よく注意していただけたらと思う。これらの資料はホームページで公表されるので、色々な受け止め方をされるため、慎重な議論のためにも避けた方がいいと思う。

○事務局

こちらは意見をいただきながら、誤解のないように修正していく。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部)

交通事業者として一番大事なのは安全運行だと思う。乗客を安全に目的地まで送り届ける。そのために3ヶ月に点検をしたり毎年車検に出したり、飲酒運転を防ぐ為アルコールチェックをしている。このためにコストが高いこともありますが、皆様の安全の運行の為にやっていうという事が背景にあるという事をご理解頂きたい。

○山内委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

固定客をつかむことは公共交通にとって大事な事。高校生の生活全体に沿うような運行時間帯になっているかなど、議論の点かと思う。

○林委員(愛知県知立建設事務所維持管理課長)

2ページの文言と、公共交通計画の文言が違っているので見直したい。具体的には、外周ルートの時間がかかることや、運行経費で財政負担が難しいことなど触れられていない。

○事務局

整合性を含めて検討していく。

○山内委員(中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官)

第三者評価委員会の評価は、協議会の了承を得て提出していただきたいので、修正するのであれば具体的に修正内容を決めていただきたい。

○事務局

公共交通計画の冊子の方に第三者評価委員会の事を加えて修正をして、皆様に確認をして頂き提出する。

○長田委員(碧南商工会議所副会頭)

ふれんどバスとくるくるバスは議論の土台が違うなと感じた。

ふれんどバスはもともと電車で通勤通学が出来なかったバスで、圧倒的に通勤の人が多。ふれんどバスとくるくるバスはわけて考えた方がよいのではと思う。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

安城市の公共交通計画には自転車の情報も入っている。

自転車の利用者が多くなって公共交通が減るのは違うという議論にもなるかと思う。

○事務局

令和5年3月7日火曜日午前10時から開催する。

閉会 午前11時30分終了